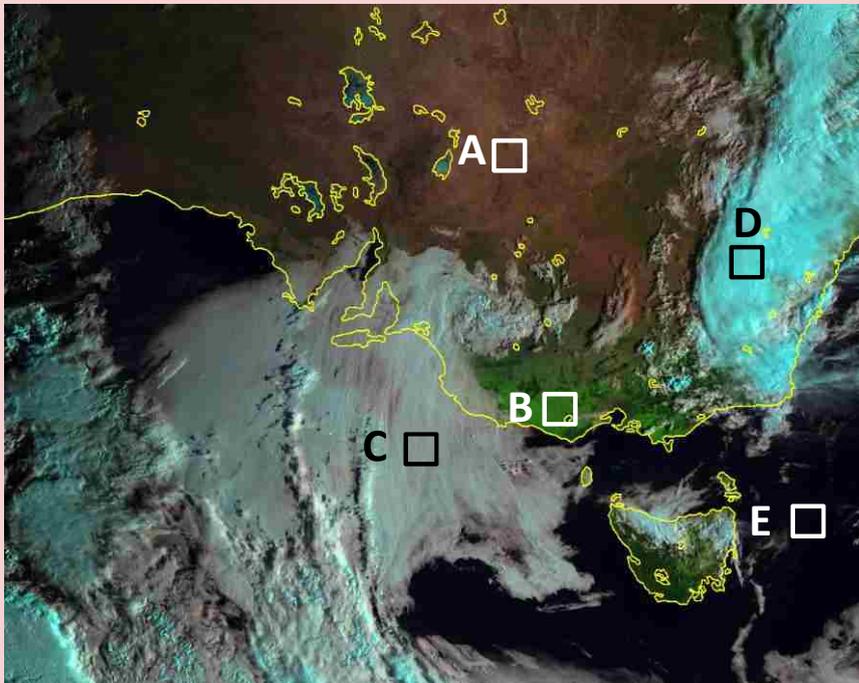
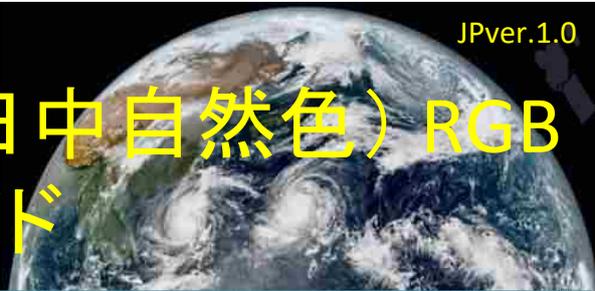


# ナチュラール・カラー Himawari Natural Color (日中自然色) RGB クイックガイド



**おもな利用用途:** 地表面の識別(雪氷域、植生、裸地など)、氷雲・水雲の判別

**利点:**

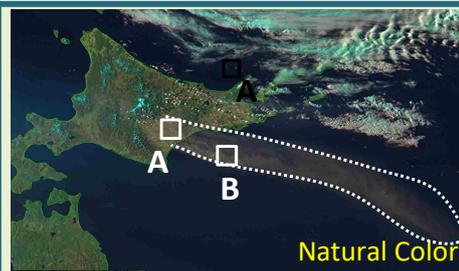
- 氷雲・水雲の判別が容易
- 地表面の状態が直感的に識別しやすい(緑色の植生、茶色の裸地・砂漠、青色の雪氷域)

**注意点:**

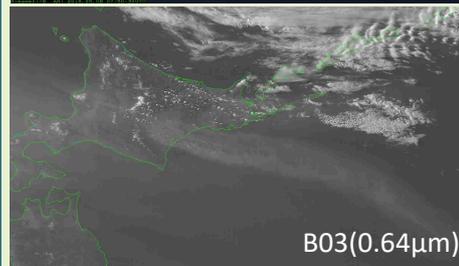
- 利用できるのは日中(太陽光の当たる領域)のみ。
- 上層の氷雲と雪氷域の色調が似ているため混同に注意(動画で要確認)。
- シアン色の雲域は氷晶だけでなく、バンド5(1.6 μm)の寄与が小さくなる(反射率が低くなる)大きな粒径の水滴も含んでいる場合がある。

オーストラリア南東部における霧を含む下層雲事例。本事例では海上から陸地へ向かう下層雲・霧域の移流がみられた。(2017年11月18日 6時(JST: 日本標準時))

- A ■ : 裸地または砂漠
- B ■ : 植生
- C ■ : 厚い下層雲
- D ■ : 厚い上層雲
- E ■ : 海



可視画像(下)、Natural Color RGB合成画像(上)ともに強風による砂塵(破線付近)を識別できるが、Natural Color RGBでは特に発生源の地表の様子がわかるので、砂塵であることを識別しやすい。両画像ともガンマ値1.5に強調表示。



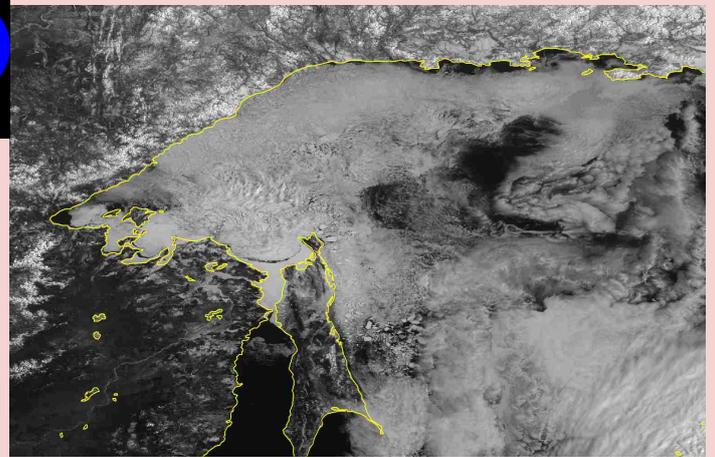
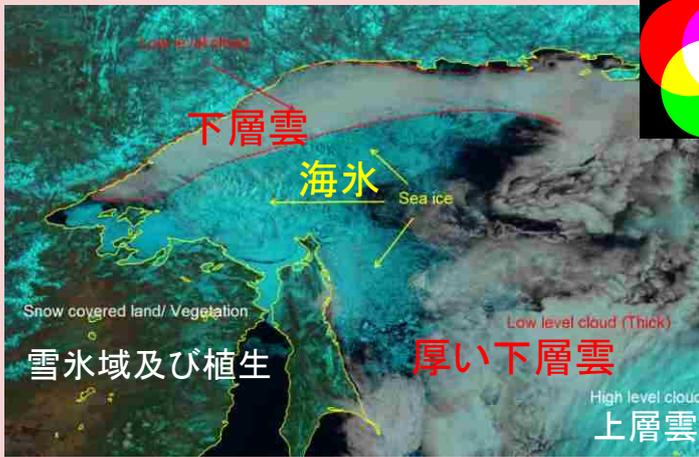
北海道付近の砂塵事例(2016年5月8日 14時50分(JST))

- A ■ : 裸地(耕作地)
- B ■ : 砂塵

Natural Color RGB 合成画像の推奨設定(調整レシピ)および各色を構成する画像特性

色	AHI 観測バンド	中心波長 [μm]	Min [%]	Max [%]	ガンマ値	関連する観測特性	色調への寄与が比較的小さい観測対象	色調への寄与が比較的大きい観測対象
赤 Red	B05	1.6	0%	99%	1.0	雲粒の相雪氷域	氷雲 雪氷域	水雲
緑 Green	B04	0.86	0%	102%	0.95	雲の光学的厚さ 植生	薄い雲	厚い雲 雪氷域 植生
青 Blue	B03	0.64	0%	100%	1.0	雲の光学的厚さ	薄い雲	厚い雲 雪氷域 海水

# Himawari Natural Color (日中自然色) RGB クイックガイド



Natural Color RGB合成画像(左)とバンド3可視画像(右)によるオホーツク海北部の海氷と下層雲の事例。(2018年4月16日 8時(JST))

海氷のピクセルでは赤色のバンド5の寄与が小さい(反射率が低い)ため、シアン色(青色と緑色の寄与が大きい)で表示される。

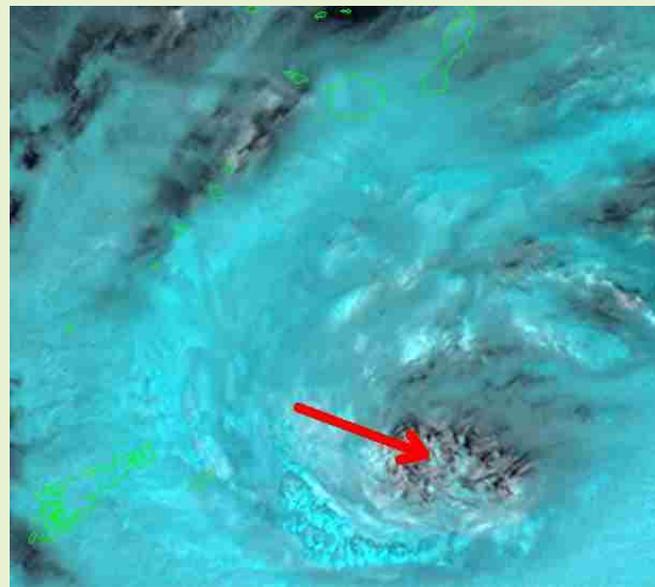
地表の雪氷面や氷晶からなる上層雲も同様にシアン色で表示される(色解釈表を参照)。

可視画像など単独の画像のみによる海氷と下層雲の識別は衛星画像の利用に慣れていないと難しい。

平成29年台風5号(ノルー)の事例。(2017年8月4日 11時38分(JST))

本事例は台風5号(ノルー、T1705)の奄美大島付近接近時の事例を示す。

台風の目の壁雲(アイウォール)の内側に白色の下層雲(図中赤色の矢印)の細かい構造を見ることができる。



Natural Color RGB 合成画像の色解釈

表示色	解釈
	上層の氷雲
	下層の水雲
	海
	植生
	砂漠
	雪氷域